

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	1035	課コード	1502	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策 ■経常 □なし
-------	------	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)																
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	小中学校管理運営事業		実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	教育総務部・学校教育課							
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市										
	⑤事業期間	令和2年度 ~			⑥担当職員数	5人 (換算人数)		2.6人								
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	358,710千円 (うち人件費 22,620千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)						
	⑧施策の位置づけ	施策コード	52104	重点プロジェクトへの位置づけ	重点4	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)						
(2) 目的	施策目的・展開方向	安心して快適に学べる教育・学習環境をつくるため、校舎等の老朽対策やICT機器・備品の更新を実施するなど、施設や設備、教育機器などの整備・充実に努めます。			事業目的	市内小中学校19校の学校運営費の予算管理を一括で行い事務の効率化や適正な予算執行を図り、児童生徒の学習環境の整備を行う。										
(3) 事業内容	内容	市内の全小中学校を運営維持していくために必要な光熱水費や消耗品等学校運営経費全般の予算管理（予算の執行や伝票作成など庶務的業務全般）を行う。			当該年度執行計画	市内小中学校19校の予算管理事務を一括で行い事務の効率化を図る。 ・経費削減のためプール施設の民間委託を試行する。また、プール施設の共同利用の検討を行う。										
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標		単位	校	想定値	19					
当該年度	予算の適正執行を通じ、学習環境を整備する。				直接	予算執行率		%		実績値						
令和3年度	予算の適正執行を通じ、学習環境を整備する。				直接	予算執行率		%			100					
令和4年度	予算の適正執行を通じ、学習環境を整備する。				直接	予算執行率		%			100					
(7) 事業実施上の課題と対応					代替案検討	○有 ●無										
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度								
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)		
			小学校管理運営事業(消耗品・光熱水費)	206,038		小学校管理運営事業(消耗品・光熱水費)	215,504		小学校管理運営事業(消耗品・光熱水費)	215,504		小学校管理運営事業(消耗品・光熱水費)	215,504		小学校管理運営事業(消耗品・光熱水費)	215,504
			中学校管理運営事業(消耗品・光熱水費)	110,169		中学校管理運営事業(消耗品・光熱水費)	119,476		中学校管理運営事業(消耗品・光熱水費)	119,476		中学校管理運営事業(消耗品・光熱水費)	119,476		中学校管理運営事業(消耗品・光熱水費)	119,476
						* 校外学習用AEDレンタル料	119		* 校外学習用AEDレンタル料	119		* 校外学習用AEDレンタル料	119		* 校外学習用AEDレンタル料	119
				* 【プール施設】 民間活用・共同利用等の検討・決定 水泳指導委託料	991		* 【プール施設】 民間活用・共同利用等の検討・決定 水泳指導委託料	991		* 【プール施設】 民間活用・共同利用等の検討・決定 水泳指導委託料	991		* 【プール施設】 民間活用・共同利用等の検討・決定 水泳指導委託料	991		
				* 【布佐中学校区学校施設】 学校施設の在り方等検討	0		* 【布佐中学校区学校施設】 学校施設の在り方等検討・方針決定	0		* 【布佐中学校区学校施設】 基本計画・基本設計委託(金額未定)	0		* 【布佐中学校区学校施設】 基本計画・基本設計委託(金額未定)	0		
	予算(決算)額	合計	316,207	合計	336,090	合計	336,090	合計	336,090	合計	336,090					
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0			
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0			
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0			
	一般財源		316,207		336,090		336,090		336,090		336,090		336,090			
	その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0			
(10) 人件費等	換算人数(人)		2.6		2.6		2.6		2.6		2.6		2.6			
	正職員人件費		22,880		22,620		22,620		22,620		22,620		22,620			
	嘱託職員報酬額		0		0		0		0		0		0			
	臨時職員賃金額		0		0		0		0		0		0			
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		339,087		358,710		358,710		358,710		358,710		358,710			
	(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		17,846.68千円/校		18,879.47千円/校											

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
	・学校の設置者として、学校を維持管理していくために必要な管理運営事業、児童生徒の学習ニーズに対応し快適で安心な学習環境を維持するための消耗品購入や備品の修繕、光熱水費などの学校管理全般を担う。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	理由		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		理由		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他		○要 ○不要
	理由		●②自治体である市が推進すべきである(理由) ■市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		理由		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他		○要 ○不要
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	達成率(%)		○①目標値達成 ○②目標値未達成	
	100	100	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	(f/b)×100		<目標を達成した理由/未達成となった原因>	
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		事業費の削減対策について		○要 ○不要
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%)		○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>	
	358,710	△19,623	<削減の内容>		<超過理由等>				○要 ○不要
事業費削減率(%)		△5.79							
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>
	0.03		単位	費用単位	実績値(h)	対目標値(%)		(h/e)×100	
		% 10万円							

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価	評価コメント	改善策及び展開方向
----	--------	-----------